

# どう使えるの？ 災害時の幹線道路

講師 中村 八郎 氏  
(防災まちづくり研究家)

2021年 1/31(日)  
14時～16時30分

柳沢公民館視聴覚室

(西武新宿線西武柳沢駅南口徒歩1分)

資料代 100円

2020年度 西東京市公民館市民企画事業  
企画 緑・住環境どうなる、  
保谷3・4・6道路ちょっと待ってよの会



道路から見えてくる  
災害に強いまちづくり

高齢化と人口減少  
経済活動の縮小などで  
交通量は減少の一途です

今、都市計画道路整備の重点は  
交通の円滑化から  
防災機能強化に移っています

では、整備された幹線道路は  
災害時にどう使えるのか？  
身近な道路の問題として  
一緒に  
考えましょう

## 要申込

【定員】40人(申込順)

1月5日(火)9時より

ちょっと待ってよの会 柳田へ

Tel 042(461)3246

ご参加の方にはコロナ対策上マスク  
着用等何点かご協力をお願いします

【共催】緑・住環境どうなる、保谷3・4・6道路ちょっと待ってよの会&西東京市公民館

## 中村八郎さんプロフィール

1946年生まれ、法政大学工学部(現・理工学部)卒、日本大学大学院修士課程修了。

東京都国分寺市役所で20年間防災まちづくり係長、都市計画課長補佐として都市計画業務に取り組む。その後NPO法人環境・災害対策研究所副理事長・NPO法人くらしの安全安心センター理事長、及び日本大学理工学部及び大学院非常勤講師、東京農工大学非常勤講師等を歴任。現在フリー。

著書:『災害に強い都市づくり』(新日本出版社、1993年)

『これからの自治体防災計画』(自治体研究社、2005年)

『地震・原発災害・新たな防災政策への転換』(新日本出版社、2012年)

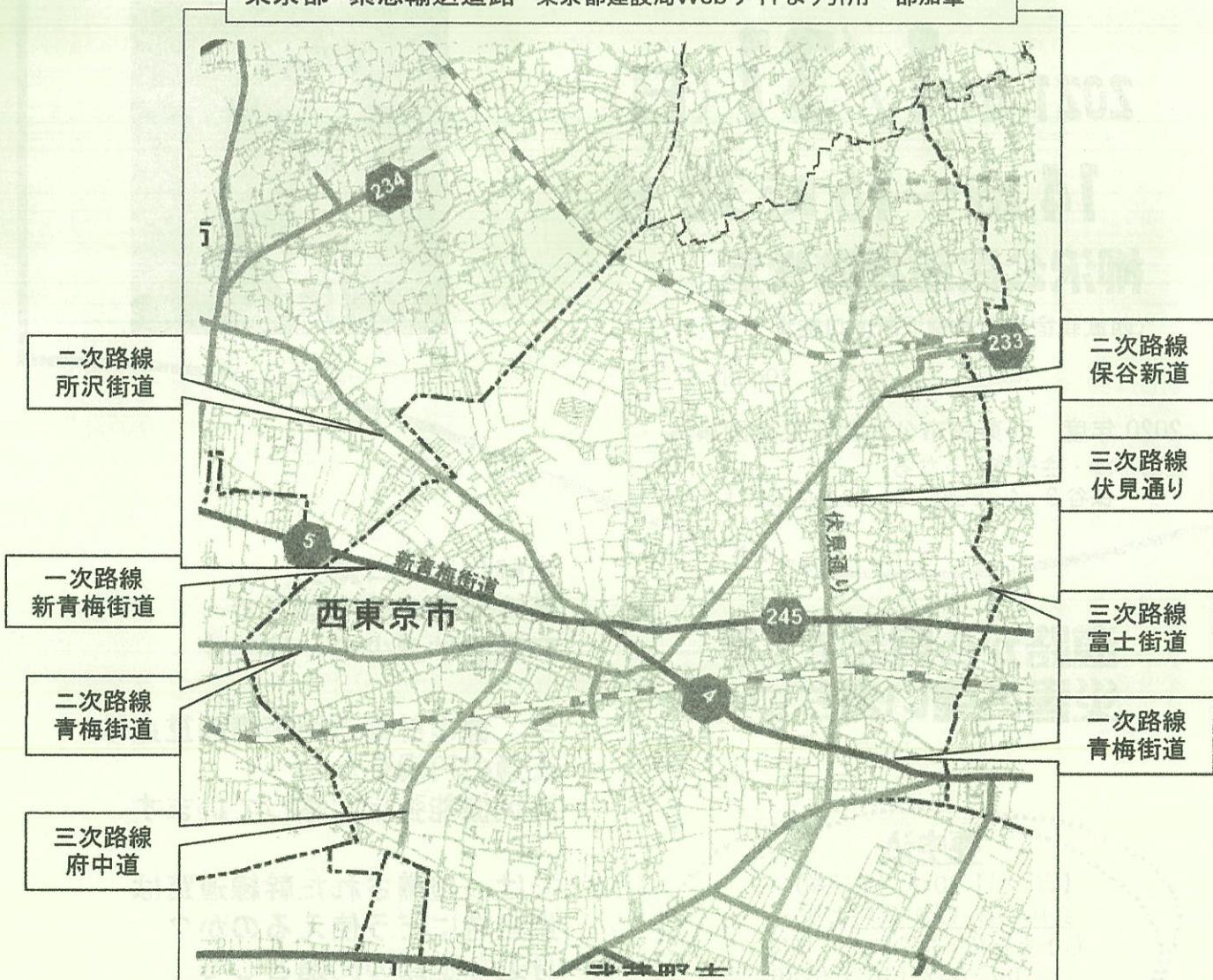
共著:『防災コミュニティ』(自治体研究社、2010年)

『大震災 復興へのみちすじ—防災政策の新段階と地方自治体の政策活動』(自治体研究社、2011年)

『「防災大国」キューバに世界が注目するわけ』(築地書館、2011年)

『現代の災害と防災(その実態と変化を見据えて)』(本の泉社、2016年)等

東京都 緊急輸送道路 東京都建設局Webサイトより引用一部加筆



第1次：応急対策の中核を担う都本庁舎、立川地域防災センター、重要港湾、空港等を連絡する路線

第2次：一次路線と区市町村役場、主要な防災拠点（警察、消防、医療等の初動対応機関）を連絡する路線

第3次：その他の防災拠点（広域輸送拠点、備蓄倉庫等）を連絡する路線